



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

資料1



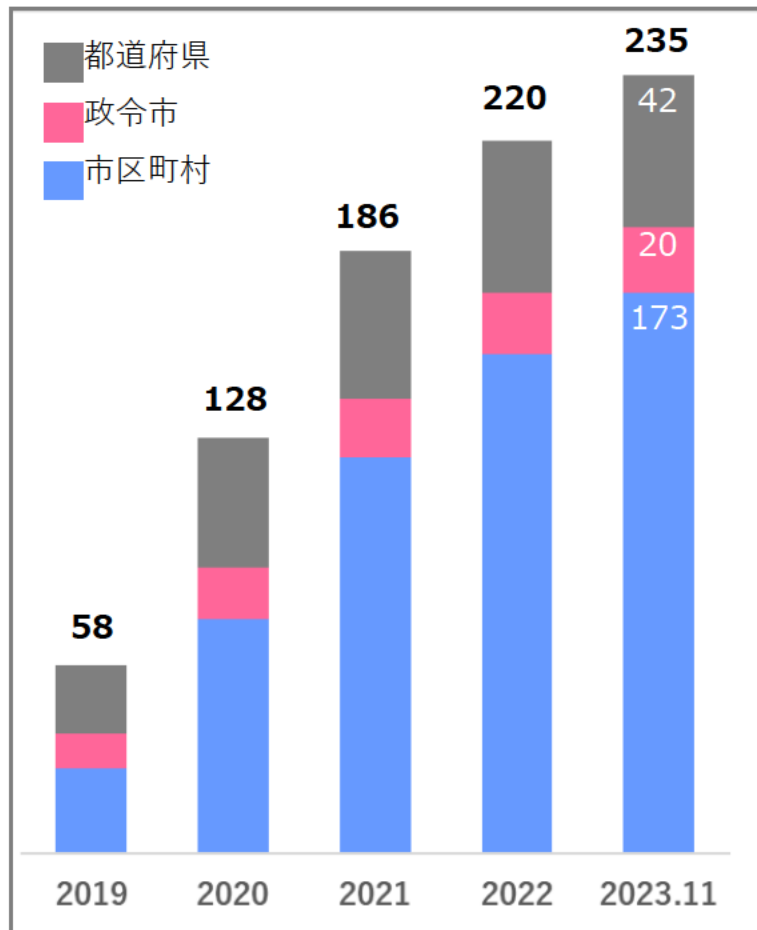
令和5年度 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会

趣旨説明

2023年12月22日

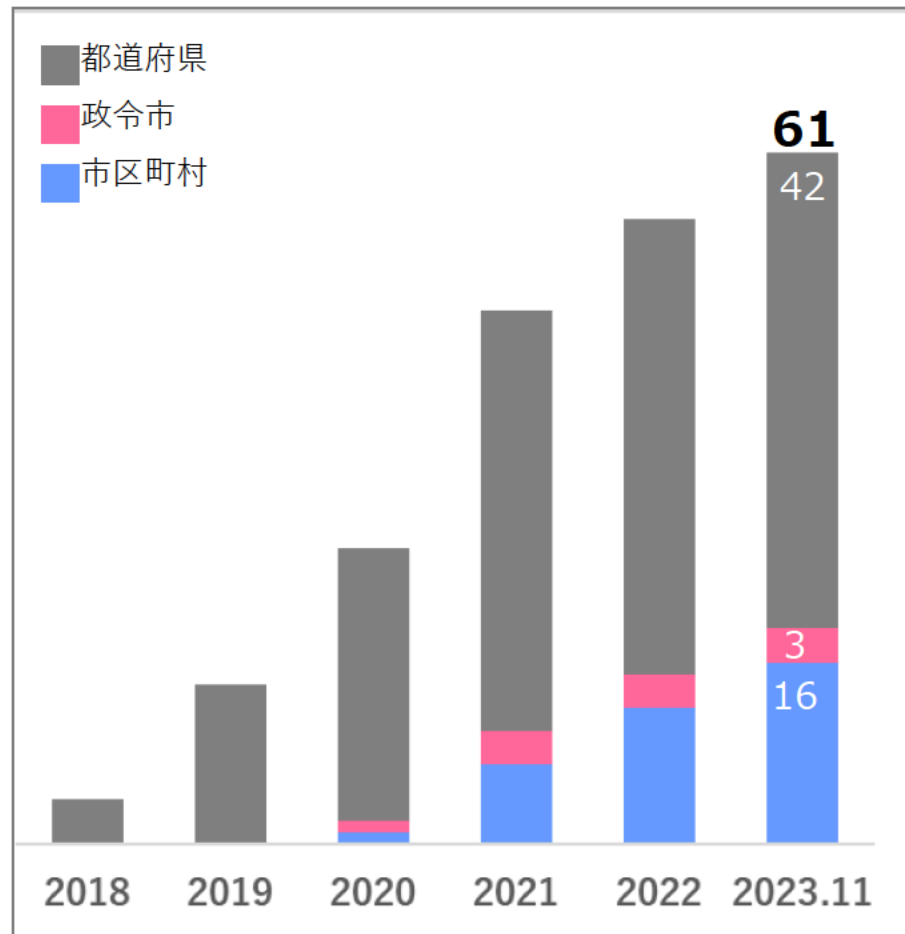
地域の適応は確実に進んでいる！

地域気候変動適応計画の策定数



2023年11月末時点で把握した数

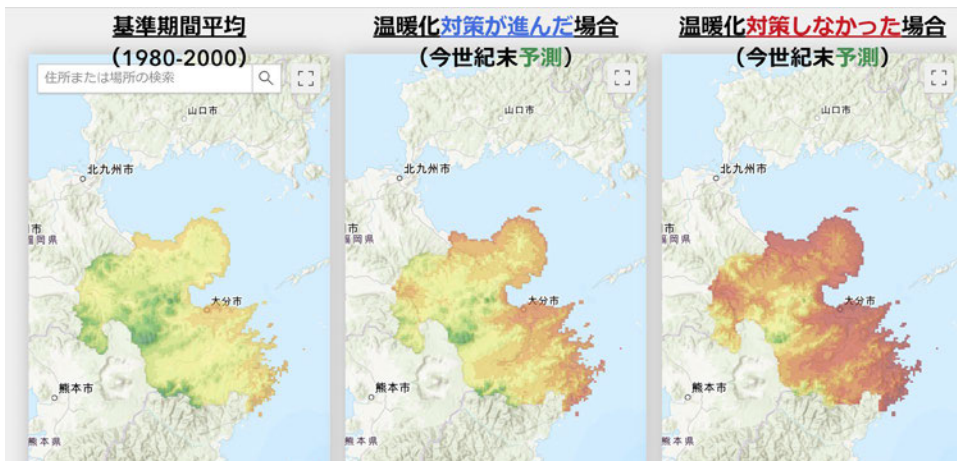
LCCACの設置数



2023年11月時点で把握した数

地域独自の取組

大分県LCCAC

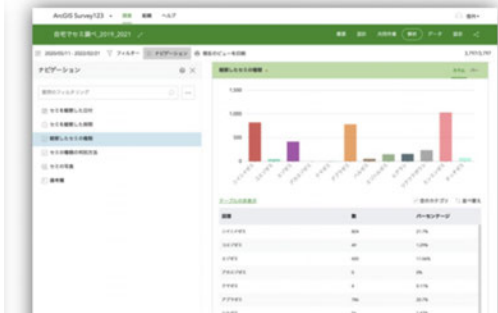


県内の将来気候変動をGIS化し、HP公開

信州LCCAC

アブラゼミの
ぬけがら

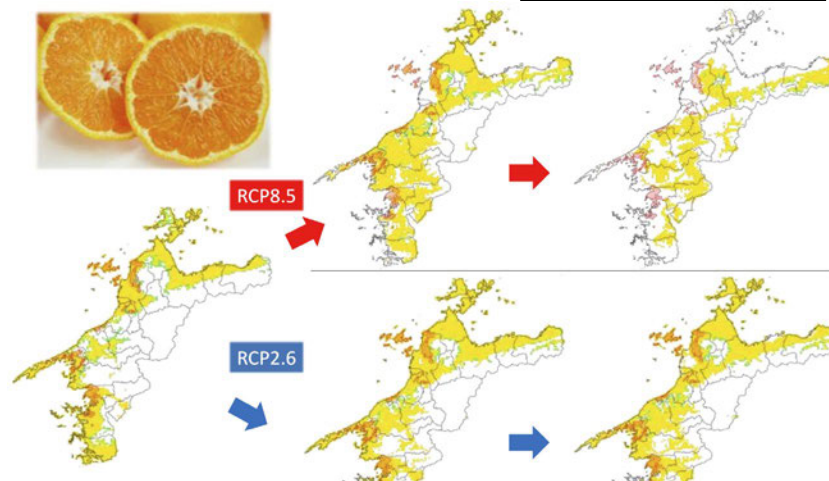
クラウド上の専用ページ
で情報提供 (ArcGIS Online)



<https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/kokuminsanka/index.html>

市民参加型生物調査と生物季節観測

愛媛県LCCAC



<https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/kokuminsanka/index.html>

地場産品への気候変動影響予測

高知県LCCAC

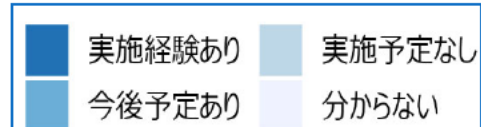


<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2023110700026.html>

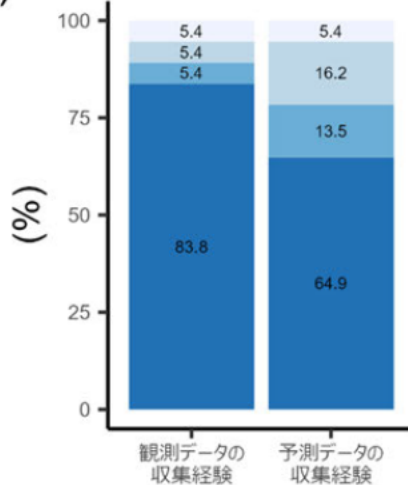
高知県LCCAC

県内の気候変動や産業分野の適応策
をわかりやすく解説

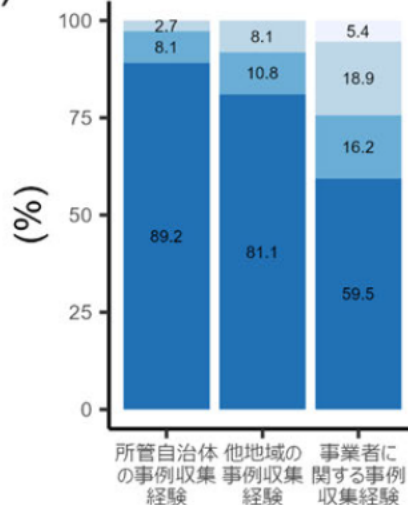
LCCACの課題の例



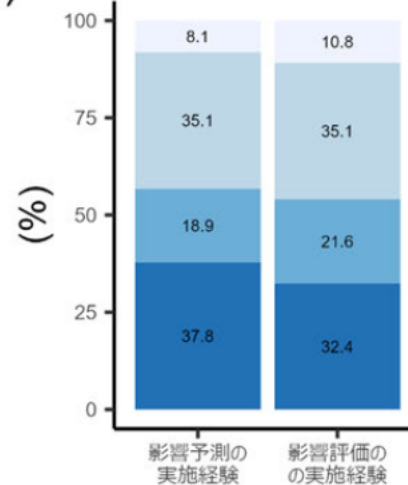
1) 科学的知見の整理



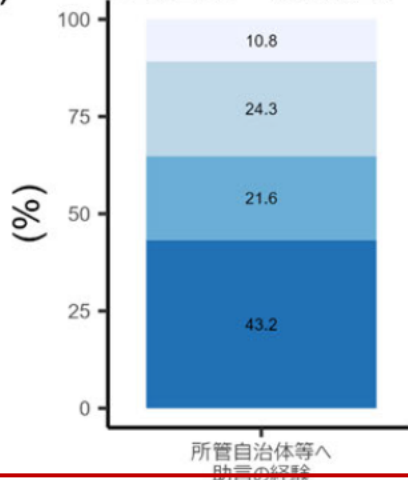
2) 優良事例の収集



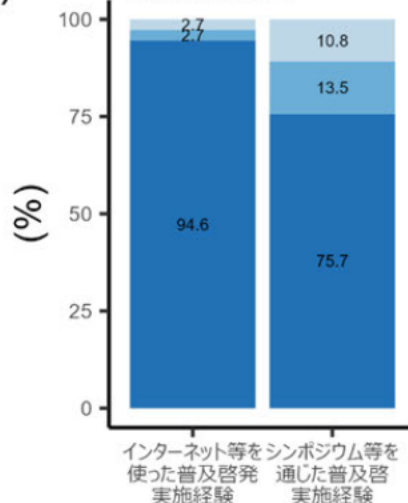
3) 将来予測の実施



4) 自治体への助言



5) 情報発信



6) 相談対応

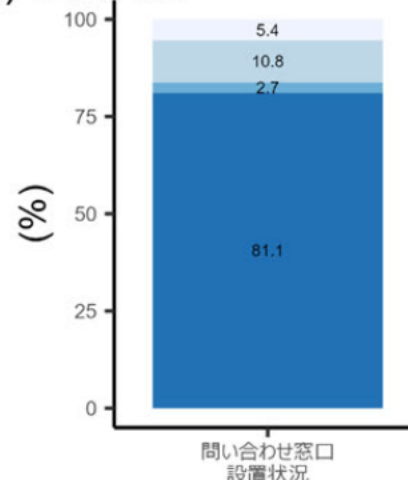
Fujita et al.
in preparation

図 適応法施行通知に記載された期待される役割 6 項目の実施経験の有無の比較

課題整理の必要性

気候変動適応法 附則第五条

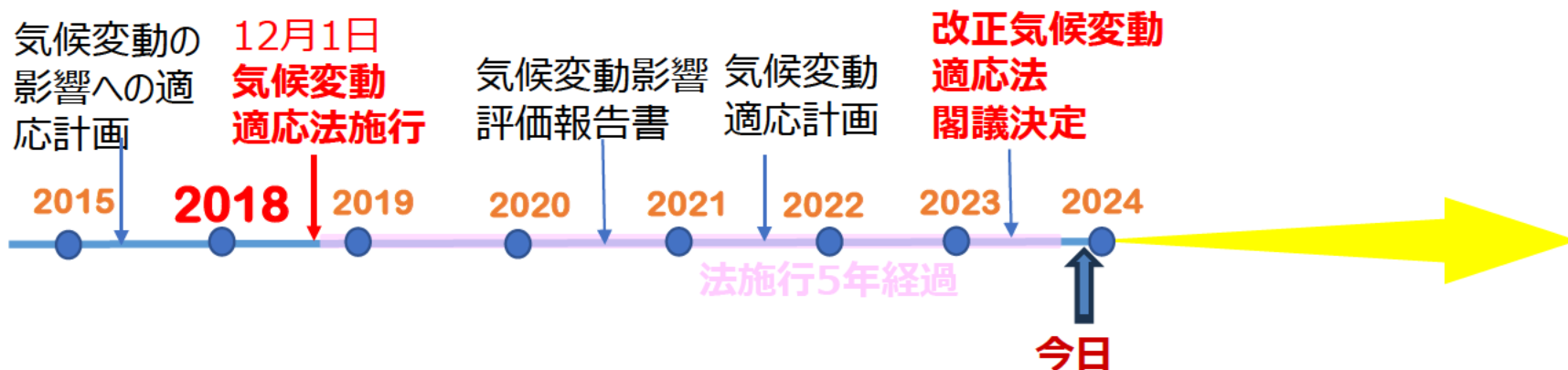
政府は、この法律の**施行後五年を経過した場合**において、この法律の施行の状況について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

出典：気候変動適応計画 https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page_00608.html

フィードバックを行い、課題を整理し、地域における適応のステップアップに繋がりたい！

国の施策と地域気候変動適応センターの発展

国の施策



地域センターの発展

▶課題に向き合いながら、
施行通知を基にセンター
業務や研究を発展させて
きた

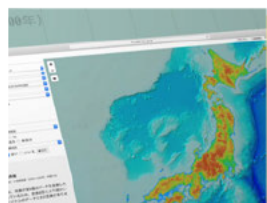
適応法施行5年
を迎え

- ▶今後目指す方向性は何か？
- ▶そのためのLCCACの中長期（5-10年）的なありかたとは？

目指す方向性/中長期的なありかたとは？

① 情報収集

地域の気候シナリオ、影響予測・評価のDB構築・公開⇒適応策へ



出典：いらすとや

② 調査研究

地域の研究機関で共同研究を実施



出典：いらすとや

※何をを目指すか？そのためにすべきことは？

キャッチフレーズの例：
「地域における気候変動適応推進の
ハブ/プラットフォーム」



適応の視点も入れた地域づくりへの参画

③ 施策支援

<課題解決のポイント>

各部局における責任と役割の明確化



出典：環境省大臣官房 環境計画課「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定 実施マニュアル（本編）」https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/data/jimu_manual_2022_04.pdf

■各部局で気候変動適応の視点が
入った施策の展開

■LCCACが横断係を推進

⑤ ステークホルダー連携

庁内他部局・
公設研究機関



民間団体

大学等



事業者

■多様な主体との連携

④ 普及啓発・教育

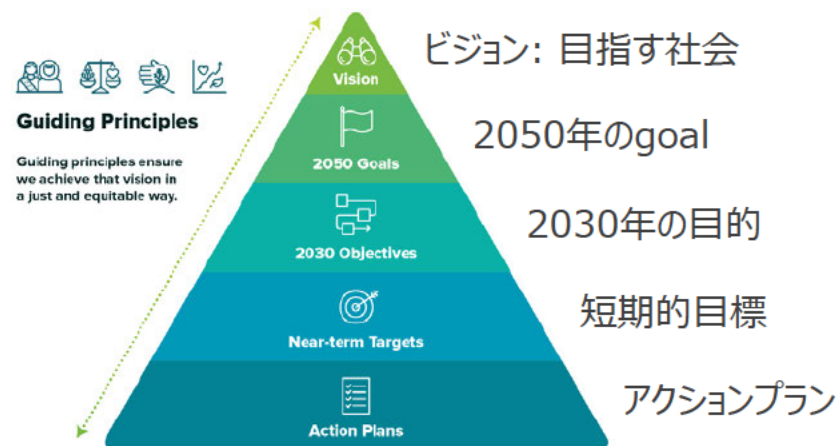
脱炭素や地域づくりと連携し、
横断的・総合的な学習を通じ
た人財育成



出典：大分県気候変動適応センター「イベント（学校等）」
<https://occac.jp/news/1570/>

<参考>海外における(地域)適応戦略の考え方 (例)

12月14日 (木) の国際シンポジウムにおける話題提供より



- ✓ カナダの適応戦略（2023年6月）では、気候レジリエントな地域社会を構築するため、**中期～長期的なビジョン・目標を示した上で、短期的に取り組むアクションの関連性を示している。**

出典：Canada's National Adaptation Strategy: Building Resilient Communities and a Strong Economy
<https://www.canada.ca/en/services/environment/weather/climatechange/climate-plan/national-adaptation-strategy.html>



- ✓ 適応の目標設定や方向性を決める上で、順応的適応、予防的適応、変革的適応のバランスを考えることも重要。



順応的適応 予防的適応 変革的適応

出典：2023年12月14日気候変動適応センター設立5周年記念国際シンポジウムにおけるキム・ヴァン・ニューアール氏の講演資料より抜粋
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/conference/2023/1214/index.html>

午前：発表者の紹介

プログラム	発表者
ゼロからはじめた情報収集・調査研究	静岡県気候変動適応センター 神谷 貴文 主査
茨城県・県内市町村の適応計画策定支援の取り組み事例	茨城県地域気候変動適応センター 横木 裕宗 教授/センター長
普及啓発に関する事例紹介 － かながわ気候変動学習教材の整備・展開を中心に －	神奈川県気候変動適応センター 田澤 慧 主査
Future Designを通じた農業分野におけるステークホルダー連携の取組事例	京都気候変動適応センター 一原 雅子 外来研究員
所沢市の気候変動適応の取組	所沢市気候変動適応センター 濱本 恵代 主任

午後：意見交換「LCCACの中長期的なあり方について」

日常業務での疑問、考えていらっしゃる事



午前のご発表など



意見交換に反映

設置母体を考慮した8センターへ事前ヒアリングさせていただいた内容を議論の基礎資料として活用



・ご自身の地域で目指す方向性
・そのために実施すべきこと、必要な事 を整理



まとめ

- 各地域で体制が整い、独自の取組が行われている
- 適応法施行 5 年の節目にLCCACの取組や課題を整理

→LCCACの中長期的な“あり方”を検討し、課題解決の糸口に！（国の施策検討へのインプット含む）



本日の意見交換会の議論を
地域における適応のステップアップに繋げたい！